

1.本時の目的

テーマの設定方法について理解する。

2.課題研究のテーマについて

課題研究とは、

まだ知られていないことや、わかっていないことの中から自分が知りたいことがたくさんある。
その中からわかりたいことを見つけ、解決を目指すこと。

その研究課題のテーマ設定に当たって

- ・自身の興味関心や好きなことを大切にする。
- ・自身の経験や知識、考えを大切にする。
- ・時間をかけて気になることを自分で見つけ出す。

3.テーマの設定に向けて

- ①対象の決定
- ②理想と現状の確認
- ③実現のために

①対象の決定

「〇〇についての研究をしたい」という漠然としたイメージでスタートしてOK。

この漠然とした内容から関連する用語でイメージマップを作成する。

関連する用語はインターネット検索や自分より知識のある人、書籍などから探す。

関連性の薄い濃いは気にしない。同じ用語が別の枝葉に含まれても問題ない。

その中から興味を惹かれない項目を削除して、特に興味を惹かれる項目を残す。

残った項目で文章を作成する。

イメージマップを作成しよう。

- ・ 中心に漠然とした興味を書き、○で囲む。
- ・ そこから枝葉のように関連用語をつなげる。とにかくたくさん。
同じ単語でもいい、正確じゃなくてもいい
- ・ 思い浮かばなくなったら PC を駆使してより広げる。



文章を作成しよう。

- ・ 興味のない単語は削除し、面白そうな単語を残す。
- ・ 残った言葉をつなげて文章を作成する。



4. 良いテーマにするために

- ・新規性 調べ学習で終わらないか
- ・具体性 漠然としていないか
- ・実現可能性 期間、自身や協力者の能力を超えていないかが重要となる。

②理想と現状の確認

理想的なゴールの想像をする。

現状どの程度までわかっているのか、実施されているのかを調べる。

→文献調査が重要になる※文献調査については別で実施する。

先程の文章に対する理想的なゴールを書いてみよう。

--

先程の文章についてどこまでわかっているか、簡単に調べてみましょう。

わかっていること

わかっていなそうなこと

③実現のために

理想のために解決しなくてはならないことを整理し、障壁の解消のための方法を考える。

どのような障壁があるのかをリストアップし、障壁の大きさ、関連性を整理する。

課題研究の期間、自身、協力者の能力を踏まえて考えていく。

障壁の大きさ	障壁の内容	解決、代替アイデア

共有しましょう

- ・ここまでを踏まえてテーマとゴールを調整する。
- ・1分間で自分のテーマ案とゴール、解決すべき障壁をプレゼンする。
- ・聞き手は具体性にかける内容の指摘や障壁を超えるアイデアをアドバイスする。

5.まとめ

自分のテーマを以下の視点で見直してみましょう。

- 新規性 自分なりの新しい視点や、調べ学習で終わらない「問い」があるか？
- 具体性 比較する対象や条件がはっきりしているか？
- 実現可能性 学校の設備と時間（1年間）でやり通せるか？

今回の考え方を利用して日常にたくさん転がっている疑問や興味を大切に、そのままにせず常に考え続けましょう。

年度末の仮説コンテストに向けて様々な案を考えて行きましょう。

2026年度
神奈川県立横須賀高等学校
Principia I 事前研修講座

テーマの設定方法について

本日の流れ

1. 課題研究とは何か
2. イメージマップの作成
3. イメージマップの共有
4. テーマの設定
5. 振り返り

本日の目的

自分の中にある興味や、
ぼんやりとした疑問を
科学的な研究テーマへ
変化させていく

課題研究とは何か

まだ誰も答えを知らない問いに自分なりの答えを出すこと。

→ 未知の問題の「解決」を目指す活動

≠ 自由研究 ≠ 調べ学習

調べ学習 自由研究との違い

種類

イメージ

ゴール

調べ学習

「知る」ための活動

すでにある答えを正しくまとめ知識を増やすこと

自由研究

「試す」ための活動

自分の興味を実験や観察を行い自分で体験して結果を確かめること

課題研究

「解決する」ための活動

まだ誰も答えを知らない問いに自分なりの答えを出す

調べ学習 自由研究との違い

- ・正しい手法や研究倫理に乗っ取る必要がある

アサガオの観察

自由研究

花がきれいに咲いた

課題研究

肥料と水の量を変化させると花にどのような影響があるか

調べ学習との違い

すでに明らかにになっている過去の研究を
まとめて理解することは重要だが、それ
を踏まえてまだ答えのわかっていないこ
とを明らかにしようとする

大切なこと

- 自身の興味関心や好きなことを大切にすること。
興味がないことを深めるのは苦痛
- 自身の経験や知識、考えを大切にすること。
漠然とした思考や感覚を論理的に
- 時間をかけて気になることを自分で見つけ出す。
一朝一夕では終わらない終わりはないかもしれない、それでも地道にコツコツと

テーマの設定にむけて

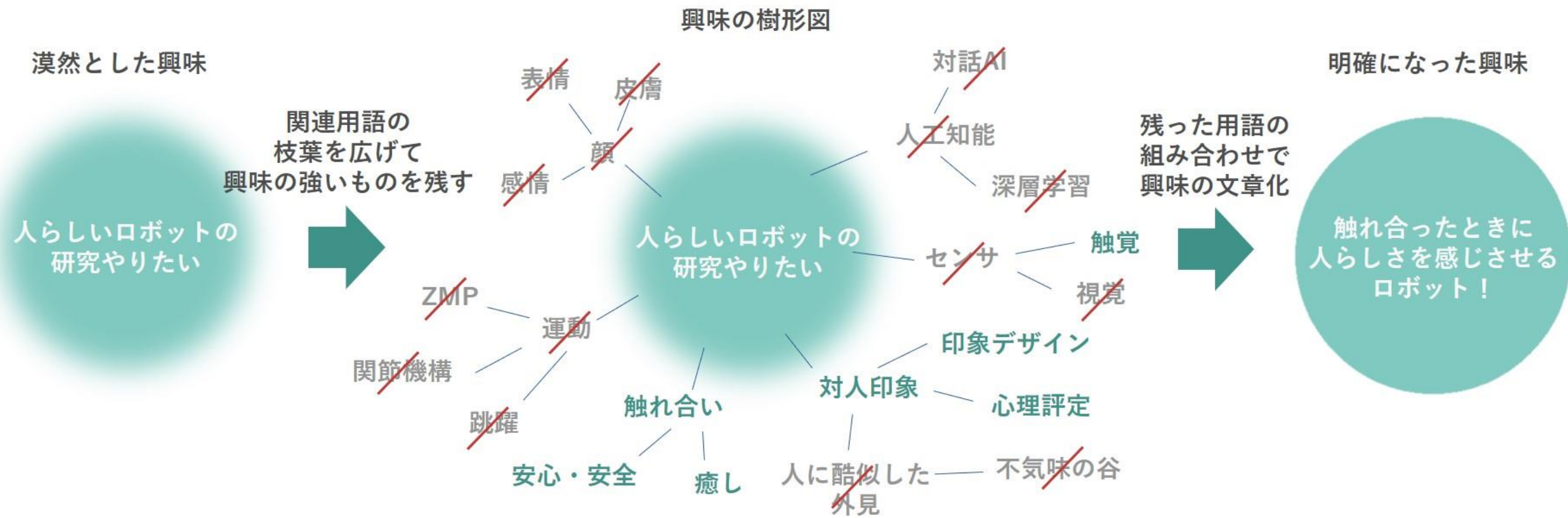
①対象の決定

漠然としていてもいい

興味のある内容からテーマを考えていく

イメージマップの作成

とにかくたくさん書き込もう

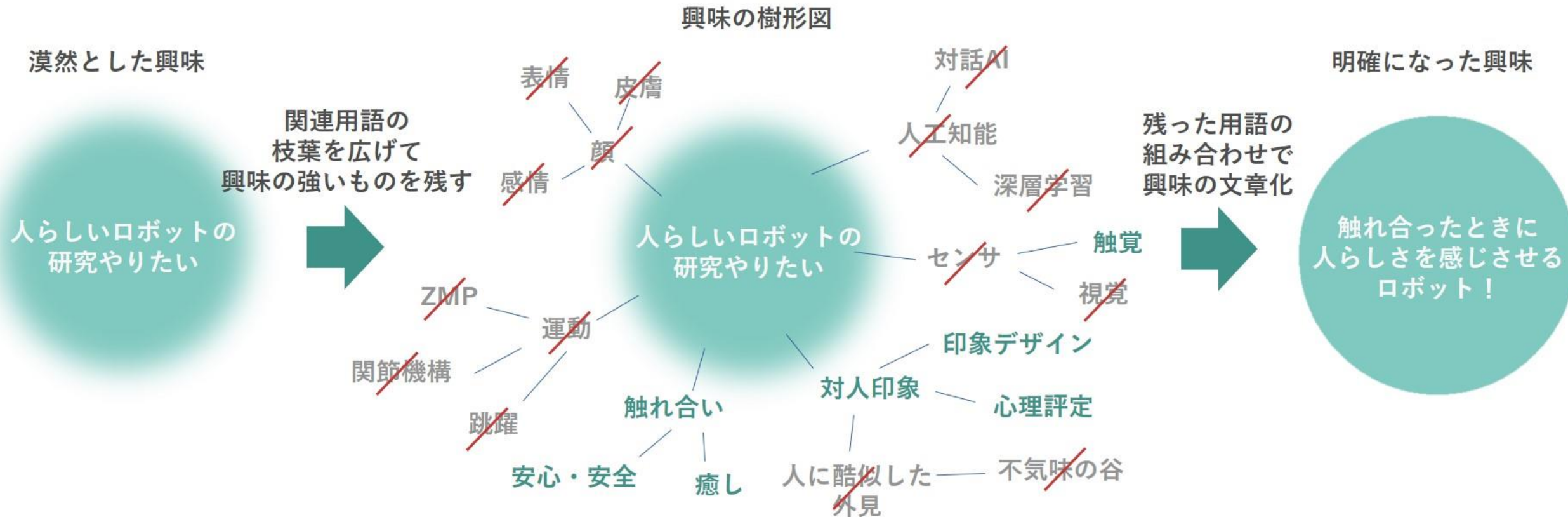


イメージマップの共有

グループ内で見せ合って
思い浮かぶ単語を勝手に書き足したり
面白そうな単語を書き足したりしてみよ
う

絞り込みと文章化

残った単語をつなげて文章化する



本日の流れ 2時間目

1. 良いテーマとは 10分
2. 理想と現実の確認 15分
3. 障壁の整理 20分
4. 障壁の共有 15分
5. まとめ 5分

良いテーマとは何か

遊びで終わらないためにも

- ・新規性
- ・具体性
- ・実現可能性

が大切

良いテーマとは何か

- ・新規性

世界初の発見である必要はないが、

自分なりの新しい視点や組み合わせが

あるかどうかが大切

良いテーマとは何か

- ・ 具体性

何を

どのように変化させて

どのように測るのか

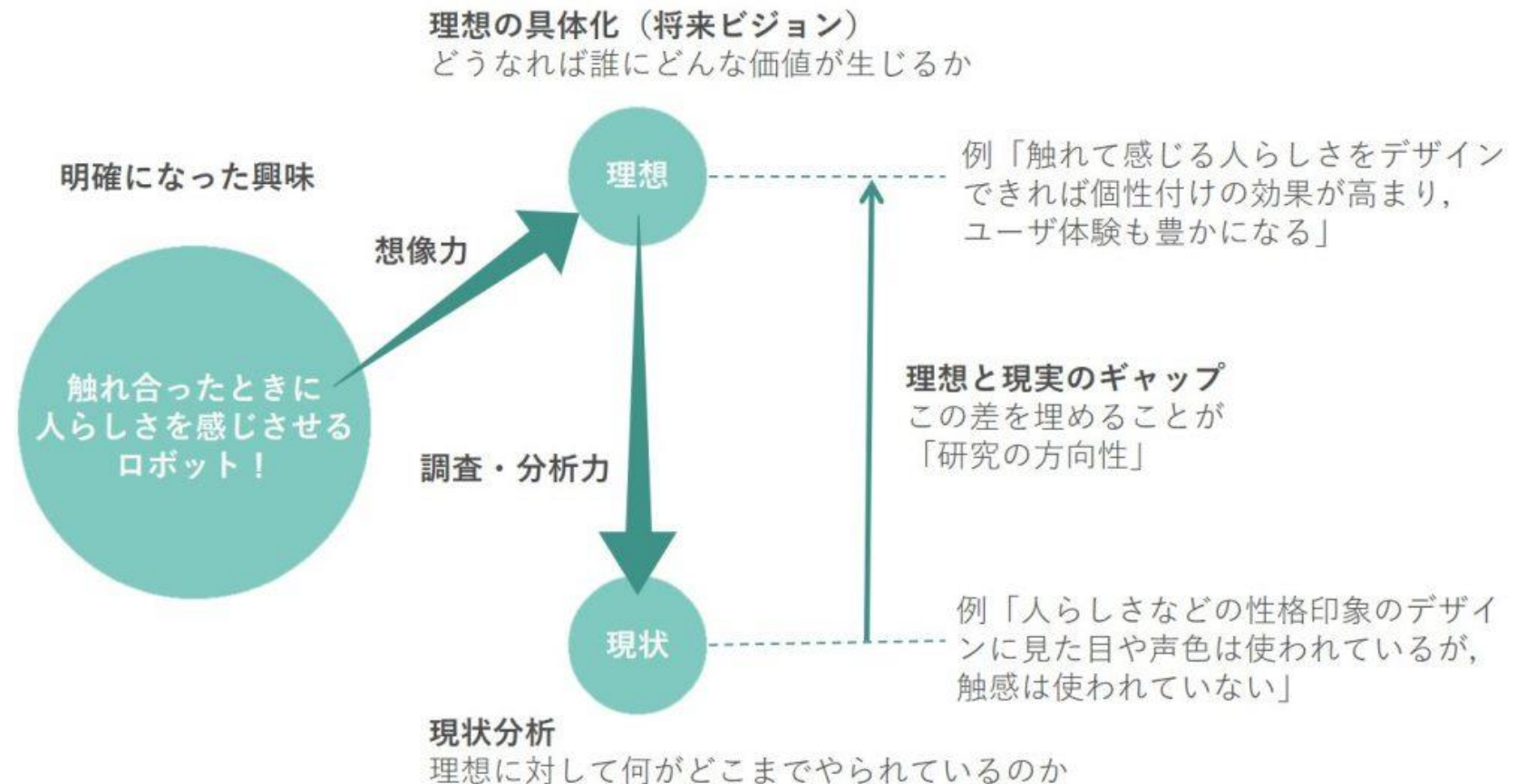
良いテーマとは何か

- ・ 実現可能性

高校2年生、3年生までに終わる内容が
学校にある、手に入る機器や材料が
危険性や権利の侵害にならないか

理想と現状の確認

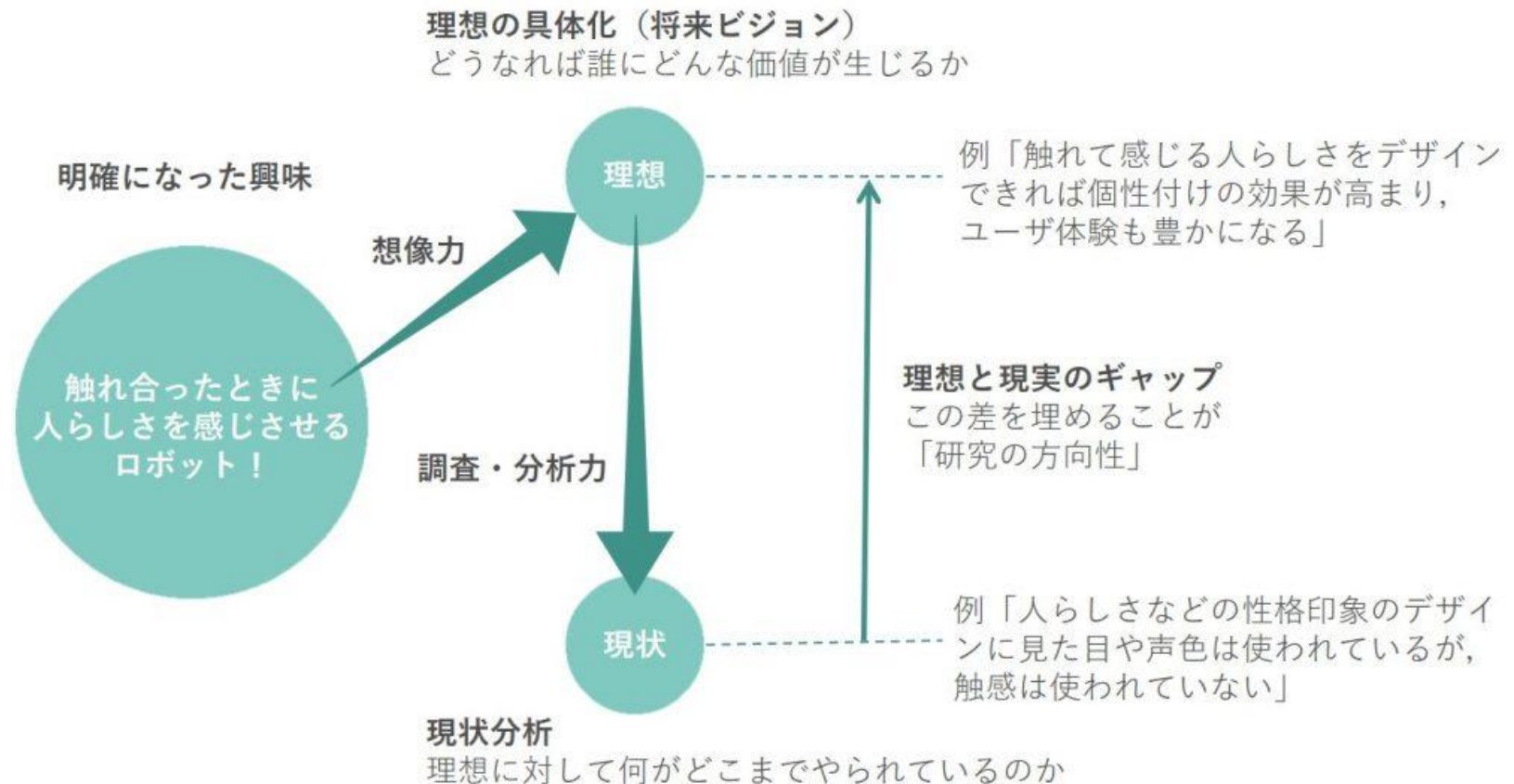
作成した文章に対する 具体的なゴールを想像する



理想と現状の確認

文献を調べて

理想に対して何がどこまでやられているかを調べる



障壁の整理

前時に作成した文章(テーマのようなもの)
に対する理想へ到達するための障壁を整理する

プレゼンをしよう

良いテーマでも

正しく伝わり、協力してもらわないと
研究を進めていくことができない

プレゼンをしよう

発表者

1分間でテーマ案 & 目指すゴールと
解決するべき障壁をプレゼンしましょう

視聴者

具体性に欠ける内容の指摘
障壁を超えるためのアイディアの提供をする